

## ◆講習会等

# 漁家経営講習会「パソコンを使った青色申告」

水産業改良普及センター 佐多忠夫

水産業改良普及センター本部駐在 中村勇次

### 1. 目的

景気の低迷や漁業生産の減少により漁家経営はますます厳しい現状に陥っている。このようななか、これまでのようなどんぶり勘定での漁家経営では立ち行かなくなっている。このため、漁業者が経営者としての自覚を持ち、コスト削減を意識した漁業を考える必要がある。また、漁業者も自営業者であることから確定申告を行わなければならないが、ほとんどの方が白色申告を行っているのが現状である。よりメリットのある青色申告を行える漁業者を育成するため、那覇青色申告会の協力を得て経営講習会を開催することにした。なお、本講集会は2年前から開催しており、当初は複式簿記の基本的な講習、領収書の整理などを実施していたが、昨年からは基礎知識があれば入力するだけで貸借対照表、損益計算書が作成できる会計ソフト「ブルーリターンA」を紹介した。昨年は、パソコンを持参した方しか会計ソフトを利用できなかったことから、今年はパソコンルームを使って講習会を実施することにした。

### 2. 方法

沖縄県内で青色申告を手助けするための団体である那覇青色申告会の協力を得て、沖縄本島中南部地区（10月4日）と北部地区（10月5日）において漁家経営講習会を開催することとした。また、今回の講習はパソコンルームで実施したことから、青色申告会の配布しているブルーリターンA体験版を使った操作方法の指導を実施した。

### 3. 結果

平成24年10月4日と5日の2日間に渡って那覇青色申告会の山里哲事業課長を講師として漁家経営講習会「パソコンを使った青色申告」を開催した。4日は中南部地区を対象に那覇市のIT創造館で開催し、漁業者や女性部等関係者10名が参加、5日は北部地区を対象に名護市生涯学習センターPCルームで開催し、関係者4名が参加した。

講習会は、普及センター大嶋所長の開会の挨拶で始まり、那覇青色申告会の山里事業課長から青色申告会が推奨しているパソコン用会計ソフト「ブルーリターンA」を使用するの inputs から決済・確定申告に至るまでの作業を体験した。参加者からは、簡単なパソコン操作で会計処理が完了することから導入について検討したいとの意見や地元漁協での開催を希望する意見が出された。

### 4. 考察

2年前から漁家経営講習会を実施しているが、今回から初めてパソコンを中心とした講座として開設した。しかし、参加者が少なかったことから開催場所について検討の必要がある。漁協単位での開催要望もあること、平成26年から白色申告でも記帳義務が発生することなどから同講習会は継続して開催する必要があるため、講習会の開催方法等について今後工夫が必要である。



那覇市開催の講習会の様子



名護市開催の講習会の様子



講師の那覇青色申告会山里哲事業課長



パソコンを使いながらの講習会の様子